



母親がDS、訪看、往診とみなさんにお世話になっていたの、恩返しをしたくて引き受けました。(四郷支部 後藤茂)



昨年、春からデビューしました。いんぐが来るのが楽しみです。(まんなか支部 藤井倚世子)



コロナの情報の中でストレスを感じたらいんぐを読んで参考にしていただくと有難いと思います。(桜支部 桃田美代子)

加齢を意識しつつ、いんぐ手配りを約15年位。今は若い人参加で担当が約半分に。



(菰野支部 伊与久紀美子)

祝300号

これからも 思いを届ける 元気に ポストさん



300号すごい。いんぐは情報という血液のようですね！(三重西支部 花岡俊雄)

友人がポストさんをしていて、「私も健康のために、少しでも出来ることがあれば」「社会に参加したい」と思って。



(川島地域 田中孝子)



みえ医療福祉生活
協同組合・四日市地域
〒512-0911
四日市市生桑町1455
TEL (四日市地域本部)
059-330-0808
FAX (四日市地域本部)
059-330-0807
組合員数 (四日市地域)
4600世帯
7月加入数0世帯
7月脱退数4世帯
2021年度
出資金増資 (四日市地域)
161名359回
2,899,000円
(7/26現在)



- ◆機関紙は組合員と生協を結ぶ貴重な役割があるんだなと強く思った。(神前支部 Y.A)
- ◆1号から299号毎回パワー全開の紙面に元気をもらっています。(坂部支部 松本恵子)
- ◆散歩しながらご近所をまわってます。(あがた支部 千種登美子)
- ◆ポストさん！いつもお元気で配付して頂いている事に感謝です。(神前支部 田中秋子)
- ◆1ヵ月に1回。真心こもった紙面を配達。ワクワクしてます。感謝。(ときわ支部 F.K)
- ◆支部立ち上げからかわって早20年以上、そろそろ世代交代かな…だめか〜(笑)(日永支部 野口せつ子)
- ◆Sさんは花や野菜を育てるのが好きで毎回会えるのが楽しみです。(北部西支部 M.M)
- ◆ポスト歴8年目です。私自身も後期高齢者になり日々健康に努力中。(北部東支部 服部修子)

2021年7月末現在、542名のポストさんに機関紙いんぐ(3035部)を手配りしていただいております。毎月の機関紙配付にご協力いただきありがとうございます。

機関紙いんぐを振り返って「1~100号」(1990年9月~2003年8月)

◆1990年7月8日、四日市医療生活協同組合が設立され「暮らしと健康」と名付けられた組合の機関紙。その創刊号は9月にはみんなの手元に届けられました。「診療所は何日ごろ、四日市のどの辺に建つの…」そんな思いに応えるように、91年1月号で「いくわ診療所の上棟式と、その開業は2月1日スタートとなる」ことを伝えると同時に、協同組合に結集することで健康づくりの意識を高め、実践することが今後の目標であるとして、「患者の権利章典」の学習講座、子供保健大学の開校、組合員のための健康づくり教室等々、企画、立案と並行し地域に支部づくり、班づくりを訴えています。

◆90年…生協の設立、91年…いくわ診療所開業、95年までの数年間は前述のように本体と中味づくりで言葉(文字)では表現がむづかしいのですが、組織と運動を築きあげ、横へ広げそして前へ前へと進められて来ました。95年8月には21号機関紙はその名を「いんぐ」と改め発行されました。98年8月50号、2003年9月には100号と継続され、「診察室から」「ポスト欄」「新入職員紹介」など、生協ならではの記事も加わり、組合員活動の教科書として成長しています。

「101~200号」(2003年9月~2013年4月)

◆大きな出来事としては2004年5月に介護施設「健康福祉センターあおぞら」がオープン。四日市医療生協も医療と介護、二つの問題に本格的に取り組むことに。「いんぐ」の紙面も介護の問題が医療に劣らず、多く取り上げられています。しかし、介護保険制度は、高齢者人口が増えるとともに介護を社会で責任を持つという当初の理念からは後退し続け、今に至っていることが分かります。同時に医療制度も改悪され続けていますが。そんな中でも班活動が組合員さんに支えられ、また2008年から「うふふフェスタ」が始められ、時々悪天候で中止されながらもみんなの祭りになっていることが分かります。紙面は新年や特記事項のある時以外は白黒です。



267号 2018年11月号

「201~299号」(2013年5月~2021年7月)

202号いんぐモニターさんの声はじまる
209号第1回職員・組合員学術運動交流集会開催
218~221号生協学校「生協ってなんだろう？」
221号NPT再検討会議代表派遣(職員田村さん参加)
255号田中啓太医師金曜日診療開始
261号四日市市見守り等活動に関する協定を2018年3月29日に四日市市と締結
272号いくわ診療所所長交代、加藤医師⇒田中医師
273号いんぐ紙面Aサイズに変更(経費削減)
275号第9回通常総代会にて「いくわ診療所の建て替え議案」が賛成多数で可決

276号大黒柱運動(出資金増資活動)パート2開始
283号新しくわ診療所着工、大黒柱運動3000万円突破
284号旧ひまわり取り壊し
290号大黒柱運動4000万円目標達成
291号新しくわ診療所リニューアルオープン(2020年11月4日)
294号シリーズSDGs連載始まる



291号 2020年11月号

田中啓太先生にインタビュー



でもらいましたと紹介してもらえような診療所を目指しています。

小児から高齢者まで幅広く総合診療科をカバーしたい

◆先代からのつながりでの患者さんや利用者さんを1ヶ所で診れるというのは、いくわの特徴ではないかと思えます。僕ができることをコツコツとやって、みなさんに知ってもらいたいです。**リニユアルして良かったとは何ですか？**

◆これからの時代は、ネット予約が主流になってくると思います。予約のインターネット検索の時に新しい建物だと興味を持ってくれます。リニユアルしてよかったことは、広々として明るく、落ち着いて相談が出来るようになったことです。

◆お母さんも働いている方が多いので、夜間診療の時間が多いです。予防接種できてくれるお子さんが多いです。若い人たちに、将来的には組合員になってもらいたいです。

四日市地域を支えたい

◆四日市は医療機関が充実しているの、いくわ診療所で解決するだけでなく、外への働きかけ 地域との連携)も大事であると感じています。他事業所からの相談などもあり連携が大事。◆最近では、終末期の患者さんが増えてきて忙しいですが、今までの礎があり、在宅の準備が整っているの、四日市地域を支えていくという思いは強いです。

患者さんを診る、その方の人生も診るという心持が大切です

◆窮屈な世の中になってきたなと思います。コロナになる前からですが、非正規職員や日雇い、ブラック企業などで働いている若い世代の方たちは、メンタルの部分での相談が多くなってきました。最近ではコロナの影響もあり、さらに増加傾向になっています。いくわ診療所は、総合診療で

すので、地域の診療所がメンタルを診てくれるということ、受診はしやすいのかなと思います。相談を受けて、重症だなど思う方は、他病院に紹介をさせていたでています。

◆仕事を辞めた方が良かったですかね。という相談もありましたが、私が決めることではないので、ご自身で決めていただけますか。でも、苦しい時には相談にのります。」としか言いようがないです。心身を病んでまで仕事を続けなくてはいけないのかという気持ちもわいてきます。命が一番で、健康があつてこそ自分なのに。健康は、目指すものでなく、健康が大前提で目標を決めて何かをやるために健康であることが大事なんです。

インタビューを終えて

みながらおしゃべりできたかなと思います。

◆最後に組合員さんに対して何かメッセージ
◆コロナがあけたら各支部へ座談会 講演とかだと緊張してしまうので、に出かけた。お菓子やお茶を飲

◆加藤先生が素晴らしい方だったので、正直プレッシャーを感じることがありますが、診療所をよくしていきたいという気持ちはあります。**地域の中でのびんな診療所を目指していますか？**
◆現在利用している患者さん、新しい患者さんのどなたに対しても **きちんと診てもらえる」「何でも相談にのってもらえる」診療所**があるよと、友人から教え

機関紙編集委員会



いんぐ
クイズコーナー

今月はこれ!!

なぞなぞ。頭を柔らかくして考えて! ㊥

カメとラクダとサイが買い物をしています。
何をかうのでしょうか?

今回は少し難しいかな?

クイズの答えと「いんぐ」の感想や近況などを書いて、診療所の待合室のポストまたは、下記の住所へ送ってください。
クイズ正解者の方より抽選で3名の方と「ポスト」掲載の方に図書カードをプレゼント。>

宛先 〒512-0911 四日市市生桑町1455
いくわ診療所内 「いんぐ編集室」

298号(6月号)の答え
問題>すべてを拒否している古典芸能といえは?
答え>能(NO)

★コロナ禍での活動の諸注意について★

コロナ拡大状況に応じて活動を展開します。自粛・延期・中止等柔軟な対応をお願いします。これまで通り三密を避け、少人数、感染予防策(マスク着用・換温・県外移動等のチェック)を徹底して下さい。体調が悪い時等は参加を見送って下さい。

◎6/1~班会・サークル活動再開。

(感染防止対策強化の上実施)

◎食事を伴う集まり、歌を歌う班会は当面中止とします!

◎事業所(あおぞらホール・ひまわり等)の使用制限(定員10名までとします)。

◆ご不明点・お問い合わせ等は◆

生協本部・組合員活動部 TEL 330-0808



2021年度健康づくり
チャレンジウォーキングのお知らせ

◆⑧8/25(水)伊坂ダム

◆⑨9/22(水)坂部~海蔵川

いずれも10:30~11:30 雨天中止

※感染拡大状況によっては開催が中止になる場合もあります。

【お問合せ先】みえ医療福祉生協・四日市
組合員活動部田村まで電話330-0808

募集

是非ご紹介
・応募ください!!

是非ご応募・ご紹介をお願いします!!

- ◇ヘルパー(急募・パ・登録いずれでも可)
- ◇通所事業所介護職(パ)
- ◇通所介護・送迎運転手



<<お問い合わせ>>

みえ医療福祉生協・四日市地域
応募は 330-0808 桐山まで

発熱や風邪症状があり診察を希望される患者様へ

「受診前にまず診療所に電話で相談を!」

いくわ診療所では新型コロナウイルス感染症対応として、発熱、咳やのどの痛み、だるさ、味やにおいが感じにくい、頭痛、吐き気や下痢、筋肉痛などの症状がある場合は、**直接来院されずに、事前に電話連絡をお願いします。**一般診療と分けた時間・空間で診察します。

いくわ診療所 電話059-333-6471

※直接ご来院いただいた場合、診療の状況によっては対応できかねることがあります。



デイサービスいくわ
月 9時~17時30分
電話 333-6756

通所リハビリいくわ
月・火・水・金・土
9時~17時30分
電話 337-8885

ヘルパーステーションいくわ
月 9時~17時30分
電話 333-6472

訪問看護ステーションいくわ
月 9時~17時30分
電話 333-6475

◆在宅療養の相談はまず左記へ
◆介護保険関連事業
◆救急医療情報センター◆
電話 059-229-1199

休日の病気やケガなどで緊急に医療機関を探したいときは左記をご利用下さい。

日・祝日・木曜日休診 【予約制】
★在宅療養が必要な方には住診も行います★

	月	火	水	木	金	土
午前9時~12時	○	○	○	×	○	○
午後4時~7時	○	×	○	×	○	×

四日市市生桑町1455番地
電話 059-333-6471

いくわ診療所
診療時間